

(報 告) 令和3年度事業報告

令和3年度事業報告

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

令和3年度は2年度に続き「新型コロナウイルス」感染症対応に終始した年度となりました。定例の巡回健診業務並びに事務センター事業を運営し当協会の社会的責務を果たしつつ、感染拡大防止の一助となるべく全役職員が取り組みました。

令和2年度の上期には感染拡大防止策として健診実施時期を猶予する措置がとられたことにより、健診需要のピークが期首から期央にズレ込みました。この影響は3年度にも持ち越す結果となり、当面この状況が続く見込みであります。健診需要のピークが期央付近にシフトすることや、東京五輪・パラリンピックの開催につきましては、これを織り込んだうえで年間の運営計画を策定しておりましたので、この影響を被ることはありませんでした。

一方、想定外の事象であったのが6月21日にスタートした「新型コロナワクチン」の職域接種対応でありました。ワクチン接種を加速する目的で「接種券」が到達する前でも1千人以上の規模であれば接種を可とする政策が決定しました。6月初めから企業からの接種要請が集中し、これにお応えすべく部門を越えて有資格者ならびに会場運営スタッフの確保等、協会全役職員が傾注いたしました。微力ながらも「感染拡大防止に貢献し、日常を取り戻したい」との強い思いがありました。その結果、企業の産業保健スタッフの皆様との信頼強化を実現することができました。「コロナワクチン接種」の早急な対応は、企業の皆様と当協会にとりまして、緊急を要する事態でありました。この対応に真摯に向き合ったことで、企業の産業保健スタッフから評価を得ることができました。

「新型コロナウイルス」感染拡大防止の一端を担わねばならない使命感がありましたので、期首から板橋区民を対象とする「新型コロナウイルス感染症健康相談等業務（コールセンター）」を開始いたしました。令和3年12月迄は、感染者数の拡大状況が一旦鎮静化の様相を呈しておりましたが、「オミクロン株」の感染力の脅威は予想を上回るものでありました。当初予定したコールセンターの許容範囲を越える相談件数でありましたので、板橋保健所との連携を緊密に実施し、全力を挙げてこれに対処いたしました。

未だ「新型コロナ」の収束を見ておりませんが、当協会は安全・衛生面の緊張感を維持し、日常の健診業務を提供するとともに、感染症予防の一端を担うべく全役職員一丸となって、向き合うことといたします。

I. 事業内容

【健康診断事業】

(1) 健康診断の実績

令和3年度の健康診断受診者総数は244,780人となり、2年度の受診者総数を16,897人 (107.4%) 上回りました。

2年度はコロナ禍による特殊事情がありましたので、それ以前の令和元年度からの実績を時系列に表記すると下表のとおりであります。

約30万人の実績を目指しましたが、コロナ禍以前まで回復しておりません。元年度対比では、47,172人 (83.8%) 下回りました。

＜年度別受診者数実績表＞

(単位：人)

受診者区分	受診者数			差異	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	R3-R2	R3-R元
1) 職域関係	238,525	199,595	217,457	17,862 108.9%	△ 21,068 91.2%
2) 地域住民関係	14,780	0	0	—	△ 14,780
3) 学童・生徒・学生	38,647	28,288	27,323	△ 965 96.6%	△ 11,324 70.7%
1) ~ 3) 総合計	291,952	227,883	244,780	16,897 <u>107.4%</u>	△ 47,172 <u>83.8%</u>

健診区分別実績の詳細は別表(9ページ)のとおりでありました。

(2) 「新型コロナワクチンの職域接種」の実績

6月21日にスタートした「新型コロナワクチンの職域接種」の実績は下表のとおりでありました。6月中は、大手通信キャリアからの医療従事者支援対応に留まりましたが、7月以降は当協会が主体で複数社の接種会場を運営いたしました。

職域接種を巡っては、企業・大学から厚労省への申請が相次いだことから、一旦申請の受付が停止される等、多少混乱する場面がありました。

当協会としては9月中に2回目接種を完了する予定でありましたが、10月まで持ち越す結果となりました。

＜新型コロナワクチンの職域接種の実績＞

単位：回

月	7月	8月	9月	10月	7~10月合計
接種回数	14,049	14,286	10,647	10,400	49,382

年内に約2万4千人の2回接種を実施いたしました。

上表とは別に3年度末(R4,3月)に2事業所・1340人に3回目接種を実施いたしました。

(3) 「季節性インフルエンザワクチン」の接種実績

「新型コロナ」と「季節性インフルエンザ」の初期症状は弁別が困難とのことでありました。「季節性インフルエンザワクチン接種」を実践し、これを抑止することも重要事項でありましたので、従来どおりその要請にお応えいたしました。

マスクの着用・手指の消毒等「新型コロナ」対策としての衛生意識が奏功し接種の実績は、前年比約7千人減少いたしました。

＜季節性インフルエンザワクチンの接種実績 前年対比＞
単位：人

年度 接種人数	令和2年度	令和3年度	R3年度－2年度
年間接種実績	23,764	16,634	△ 7,130

(4) 「ストレスチェック」

制度が本格化して6年を経過した「ストレスチェック」の実績は、以下のとおりでありました。当協会は全衛連が推奨する定期健康診断と同時に効率的に受検することを提案いたしましたが、ストレスチェックについては企業の専属産業医と産業保健スタッフが独自に取り組まれる事例が多数を占め、その実績は伸び悩みの様相を呈しております。

令和3年度の特殊事情として、企業の産業保健スタッフの方々におかれましても、直面しているコロナ対応に忙殺されておられる状況が伝わってまいりました。コロナ禍が収束した時点で、あらためて「ストレスチェック制度」の普及・啓発に取り組むことといたします。

＜ストレスチェック実績 推移表＞

年度 区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
受託事業場数	102	130	81	75	69	70
受検者総数	15,699人	19,806人	11,602人	10,452人	9,562人	9,253人

(5) 特定保健指導

特定保健指導の実績は、以下のとおり大きく進展いたしました。

＜特定保健指導実績 推移表＞

年度 区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
動機付け支援	264件	605件	618件	816件	2,296件
積極的支援	392件	746件	998件	1,544件	2,989件

栃木県内の大手自動車メーカーの工場内診療所における健診運営に併行し当協会主導で「特定保健指導」を実践することとなりました。

この要請にお応えすべくあらたに人材を起用し、信頼を強化すると同時に当協会が公益目的支出の継続事業として選択した「特定保健指導」を着実に履行することができました。

(6) 内部被ばく線量測定 (Whole body counter) 搭載車の稼働状況

環境省が取り組んでいる「福島県内における住民の個人被ばく線量把握事業」について(公財)原子力安全研究協会のご指導のもと、当協会が保有するWBC搭載車を現地に派遣し、自宅に帰還または帰還予定の皆様の不安軽減に貢献いたすべく継続して取り組みました。

稼働日数の推移は以下の通りでありました。

<WBC搭載車 稼働日数の推移表>

(単位：日)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
稼働日数	9	88	87	86	49	63

環境省の当初設計では105日の稼働を予定しておりましたが、県内市町村がコロナ感染の動向を見据え実施の可否を検討した結果、4割を中止することとなりました。

【事務センター】

健康保険組合の健診関連事務を代行する「事務センター」の業況は下表のとおりでありました。

<主たる業務の業務別処理実績推移表>

(単位：件)

業務 \ 年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
①予約管理	201,243	191,185	199,453	182,569	198,915	156,440
②請求管理	243,740	246,801	236,718	236,632	211,774	232,715
③結果処理	243,009	248,613	243,847	243,624	218,053	233,247

予約管理業務は低調でありましたが、請求管理・結果処理業務の処理件数はコロナ禍前の水準に回復いたしました。予約管理業務の処理件数が減少した事由は、健保組合が開発したWebシステムでの申し込みが進展したことによるものであります。

主たる業務以外の健診に付随する事務代行の受託状況は以下のとおり推移

いたしました。

＜その他の保健事業関連事務代行業務の推移表＞

(単位：件)

業務区分	年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
立替・請求処理		7,816	8,086	6,901	7,948	7,459
インフルエンザワクチン接種補助審査		108,719	109,563	120,690	25,931	12,649
保健指導結果・請求処理		2,682	7,400	14,951	15,777	29,186
歯科検診結果・請求処理		22,676	21,003	19,604	2,160	839

事務センター発足当初からの目標でありました「健診結果標準フォーマット」導入の進展状況は以下のとおりでありました。

＜健診結果標準フォーマット導入実績 前年対比＞

導入実績	年度	令和2年度	令和3年度	R3年度－2年度
導入人数		183,908人	197,529人	13,621人
全受診者数に占める導入率%		79.7%	85.6%	5.9Pt増

II 技術研修会等への参加状況

職員の技術力の向上を目的として、(公社)全国労働衛生団体連合会等が主催する各種講習会・研修会に参加すべく計画いたしました。前年度は「コロナ禍」により外部研修会の全てが中止となりましたが、当期はオンラインの手法で研修会が開催されました。

以下の外部研修会に参加いたしました。

- ・ 8月26日 「選別聴力検査 ON LINE研修会 I」 主催：全衛連
- ・ 9月23・24日 「日本産業衛生法学会第1回学術大会」 主催：日本産業衛生法学会
- ・ 11月4日～12月4日

第63回 日本消化器学会大会 第102回 日本消化器内視鏡学会総会 第25回 日本肝臓学会大会 第19回 日本消化器外科学会大会 第59回 日本消化器がん検診学会大会	} 診療放射線技師が参加
---	--------------

協会内部の定例研修会につきましては、一堂に会する「新人研修会」・「年末研修会」を見送りましたが、品質保証室が主導し「職位別eラーニング」の受講を徹底いたしました。

Ⅲ 講演会の開催及びその他の発表・指導、協力等

例年開催していた「定時社員総会」終了後の労働衛生関連の講演会は、コロナ禍により2年度同様に開催することができませんでしたが、以下の事項について、協力いたしました。

- ・9月1日～30日：全衛連が主導する「心とからだの健康推進運動」に協力し、健康診断の受診率向上及び心身両面での健康づくりの啓発に努めました。
- ・10月1日～31日：東京労働局・（公社）東京労働基準協会連合会が主催する「産業保健フォーラム On line 2021」Web開催の実行委員として協力いたしました。

当協会の公益的広報活動として、例年どおり「事業年報」と機関誌「あおぞら」13・14号を編纂し「新型コロナワクチン(第3回目接種と対策)」等の記事を掲載し会員・顧客の皆様にお届けいたしました。

Ⅳ 外部精度管理の参加状況等

全衛連が主催する総合精度管理事業に以下のとおり参加いたしました。

- 「令和3年度 胸部エックス線検査精度管理調査」
評価：A （令和4年2月1日）
- 「令和3年度 労働衛生検査精度管理調査」
評価：A （令和4年3月14日）
- 「令和3年度 臨床検査精度管理調査」
評価：A （令和4年4月7日）
- 「令和3年度 胃部エックス線検査精度管理調査」
評価：B （令和4年4月11日）

Ⅴ 健診機器と付帯設備の拡充

- （一財）日本宝くじ協会からの補助金により胸部車を整備しました。

前年度10月に補助金の交付申請をした「胸部デジタル検診車」が採択され、期首から作成に取り組みました。コロナ禍の影響で「半導体」の供給不足に陥り、完成が遅延する虞もありましたが、年度内に完成することができました。室内を3区画に区分しプライバシーに配慮した設計となっております。

申請先：一般財団法人日本宝くじ協会
補助事業名：令和3年度公益法人等が行う公益事業への助成
検診車の整備事業
助成決定額：40,900千円（本体事業費）

○一部の事業所を対象とする「遠隔読影システム」を整備いたしました。

栃木県内の事業所内診療所と当協会の読影医師を結ぶ「遠隔読影システム」を整備いたしました。定例作業のRPA（Robotic Process Automation）化も進展し、健診結果報告をより迅速に提供できることとなりました。

VI 関係団体への役員等就任状況

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会 理事：理事長 白川 毅
// 事業部会委員：石渡 佐恵樹

VII 会議の開催

(1) 全理事会

- 5月25日
 - ① 令和2年度事業報告（案）承認の件
 - ② 令和2年度財務諸表等及び公益目的支出計画実施報告書（案）承認の件
 - ③ 第56回定時社員総会開催の件
 - ④ 任期満了に伴う役員選任の件
- 6月25日 第56回定時社員総会終了後
 - ① 代表理事及び役付理事選定の件
 - ② 顧問再任の件
- 10月26日
 - ① 令和3年度下期事業計画（案）承認の件
 - ② 令和3年度下期修正予算（案）承認の件
- 令和4年3月29日
 - ① 令和4年度事業計画（案）認定の件
 - ② 令和4年度収支予算（案）認定の件
 - ③ 短期資金調達計画に関する件

(2) 定時社員総会 (第56回定時社員総会)

○ 6月25日

- ① 令和2年度事業報告
- ② 令和2年度財務諸表等及び公益目的支出計画実施報告書承認の件
- ③ 令和3年度事業計画について
- ④ 令和3年度収支予算について
- ⑤ 任期満了に伴う役員選任の件

(3) 常勤理事会 毎月第3金曜日

(4) 各部報告会 毎月第3金曜日

(5) ライン会 毎月最終月曜日

(6) その他社内定例会議

<品質保証委員会>

- ・CS・ES委員会
- ・リスクマネジメント委員会
- ・医療技術情報委員会

毎月開催

<安全衛生委員会>

<機関誌編集委員会>

<個人情報保護委員会>

- ・精度管理部会
- ・自主監査部会

適宜開催

Ⅷ 会員の異動状況

(R 4, 3, 31現在)

会員区分	前期末	増加	減少	当期末
法人正会員	19	0	1	18
個人正会員	24	0	3	21
法人賛助会員	11	0	0	11
個人賛助会員	0	0	0	0
合計	54	0	4	50

(別表)

令和3年度健康診断区分別受診者数一覧表

1) [職域関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
雇入れ時	3,833	
定期健康診断	63,132	
特殊健康診断	42,296	詳細は別記参照
生活習慣病健康診断	95,449	
その他健康診断	12,747	二次精密検査、定期追加検査含む
歯科	0	
合計	217,457	

別記 (特殊健康診断内訳)

健診区分		受診人数(人)	備考
法定	じん肺	1,623	
	鉛	463	
	有機溶剤	10,473	
	特定化学物質	14,544	
	電離放射線	1,223	
行政指導	石棉	610	
	有害光線	1,851	
	騒音	4,630	
	振動工具	1,425	
	腰痛	370	
V D T		5,084	
合計		42,296	

2) [地域住民関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
住民健康診断	0	行政・地区医師会よりの受託等

3) [学童・生徒・学生関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
学校健康診断	27,323	学童・高等学校・専門学校・専修学校・大学等

1) ~ 3) 合計 244,780人

事業報告書の附属明細書

一般社団法人 労働保健協会

該当事項が無いため、記載を省略いたします。